

## 事前評価個表

事業名	森林環境保全整備事業	事業計画期間	平成28年度～平成32年度																				
事業実施地区名 (都道府県名)	北上川上流森林計画区 (岩手県)	事業実施主体	東北森林管理局 盛岡森林管理署																				
事業の概要・目的	<p>本森林計画の対象は、岩手県のほぼ中央部に位置する北上川上流森林計画区内の国有林野62, 238haである。</p> <p>本森林計画区は、森林計画区内を南北に流れる北上川を境に、東部が北上高地地域、西部が奥羽山脈地域となっている。北上高地地域は、一般に起伏が少なく、毛無森など1,000m以上の山々が平坦な山頂を連ね、平原の地形をなしている。奥羽山脈地域は、秋田県境に乳頭山、駒ヶ岳などの山地群が連なり、日本海側と太平洋側に画する脊梁となっており、三ツ石山から、岩手山と岩手火山群が盛岡市の北西まで張り出し、岩手山の山麓には広い裾部が展開している。河川は、東から米内川、丹藤川が西流し、また西から雫石川、滝名川が東流し、北上川に注いでいる。</p> <p>林況は、山岳部はブナを主とする天然林が多く、その下方ではスギ、アカマツ、カラマツ人工林となっている。特に、北上川沿いに点在する丘陵地帯は御堂マツと称されるアカマツ優良材の生産地となっている。従来より豊かな森林資源を利用して木材加工業が発達しているほか、キノコや山菜を利用した食品加工業が地域の重要な産業となっている。</p> <p>奥羽山脈地域、北上高地地域とも稜線から市街地へと続く河川が多いこと等から、水源かん養、土砂流出防備等の保安林に加え、十和田八幡平国立公園、外山早坂高原県立自然公園をはじめ、県指定の自然環境保全地域や葛根田川・玉川源流部森林生態系保護地域の指定及び自然休養林等のレクリエーションの森が選定され、入り込み者の数も多い。また、両地域とも交通の便に恵まれ、首都圏から比較的近く、温泉、溪谷、豊かな森林景観など豊富な観光資源に恵まれていることから、スキーや登山など森林を利用したレクリエーション・保健休養の場として多くの人々に利用されている。</p> <p>本事業は、これらの地域の特性を踏まえて、地球温暖化防止対策や水源涵養機能、木材生産機能等の森林の有する多面的機能を総合的かつ高度に発揮させるために必要な更新や間伐等の保育作業、並びにこれらを実施するために必要な路網整備を森林の重視すべき機能の区分に応じ実施するものである。</p>																						
	<table> <tr> <td>主な事業内容</td> <td>森林整備</td> <td>更新面積</td> <td>659</td> <td>ha</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>保育面積</td> <td>9,350</td> <td>ha</td> </tr> <tr> <td></td> <td>路網整備</td> <td>開設延長</td> <td>23.7</td> <td>km</td> </tr> <tr> <td>総事業費</td> <td colspan="4">3,062,676 千円</td> </tr> </table>			主な事業内容	森林整備	更新面積	659	ha			保育面積	9,350	ha		路網整備	開設延長	23.7	km	総事業費	3,062,676 千円			
主な事業内容	森林整備	更新面積	659	ha																			
		保育面積	9,350	ha																			
	路網整備	開設延長	23.7	km																			
総事業費	3,062,676 千円																						
費用対効果分析	総便益(B)	24,138,957 千円																					
	総費用(C)	3,850,753 千円																					
	分析結果(B/C)	6.27																					
森林管理局事業評価技術検討会の意見	<p>人工林の齢級構成が8齢級から10齢級が6割と大半を占める一方、特にカラマツ、スギ、アカマツについては、10齢級以上の林分が約5割と主伐期に達しており、これらを森林整備を行うことで、公益的機能の発揮と木材生産等を通じた地域振興への寄与が発揮されることから事業の必要性が認められる。</p>																						
評価結果	<ul style="list-style-type: none"> <li>必要性：地球温暖化防止対策や国土保全及び水源涵養等の公益的機能の発揮や木材の安定供給に関する地域の要請に応えるため、本事業の実施が必要である。</li> <li>効率性：費用対効果分析の結果から十分な効率性が認められる。</li> <li>有効性：国有林の地域別の森林計画に即した事業内容であり、地域の特性を踏まえた計画的な森林整備により、森林の有する機能を十分発揮させる有効な事業と認められる。</li> </ul> <p>新規地区採択に当たっての審査項目(チェックリスト)、費用対効果分析及び各観点からの評価を踏まえて総合的かつ客観的に検討したところ、森林の重視すべき機能の区分に応じた適切な森林整備が効率的に計画されているものと認められる。</p>																						

様式1

便 益 集 計 表

( 森林整備事業 )

事業名：森林環境保全整備事業  
 施行箇所：北上川上流森林計画区

都道府県名：岩手  
 (単位：千円)

大 区 分	中 区 分	評価額	備 考
水源涵養 <sup>かん</sup> 便益	洪水防止便益	4,784,680	
	流域貯水便益	1,603,563	
	水質浄化便益	3,531,152	
山地保全便益	土砂流出防止便益	8,059,765	
環境保全便益	炭素固定便益	2,375,283	
木材生産等便益	木材生産等経費縮減便益	180,074	
	木材利用増進便益	168,016	
	木材生産確保・増進便益	2,417,575	
森林整備経費縮減等便益	森林整備促進便益	1,018,849	
総 便 益 (B)		24,138,957	
総 費 用 (C)		3,850,753	千円
費用便益比	$B \div C = \frac{24,138,957}{3,850,753} = 6.27$		

# 森林環境保全整備事業 北上川上流森林計画区 岩手県 盛岡森林管理署事業概要図

北上川上流森林計画区位置図  
(岩手県盛岡森林管理署)



高松山国有林  
645㌔110林小班(間伐)



女助山国有林  
624㌔林小班(下刈)



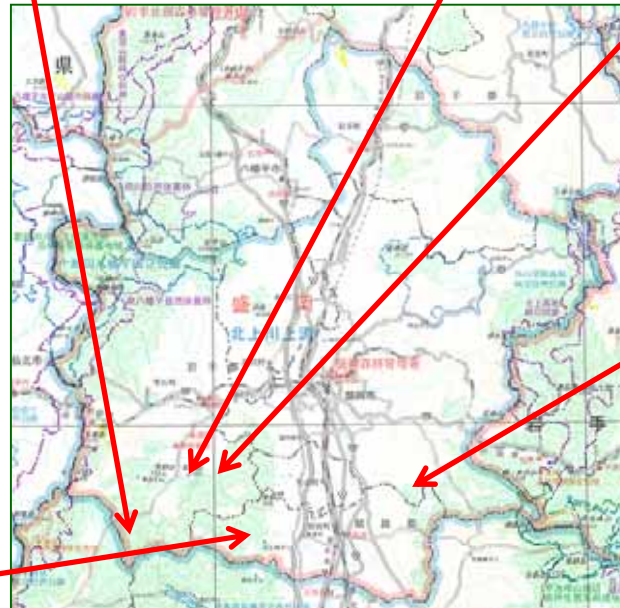
矢櫃山国有林 618林班  
(九十九沢林業専用道)



山王海国有林  
411㌔林小班(除伐)



主な森林整備位置図



虫壁山国有林  
513㌔林小班(植付)

